

スケジュール

2016年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017年1月	2月	3月	
	7/1 (金) 事前エントリー*	8/15 (月) 本エントリー (作品応募)	8/16 (火)	9/15 (木) 1次審査会 (阪急うめだホール)	10/10・11 (月・祝、火) 2次審査会 (マーチエキュート神田万世橋)	10/22・23 (土、日) 表彰式 (阪急うめだ本店)	11/16 (水) 展示 (阪急うめだ本店) 2017年1月 開催予定			

*作品応募予定の方は必ず事前エントリーをしてください。

JLIAの活動のご紹介

一般社団法人日本皮革産業連合会 (JLIA) とは、皮革および革製品の生産・流通・貿易に関する各種施策の総合調整・技術開発・普及啓発などを実施することにより、皮革産業の総合的な振興・発展および連帯強化を図り、もって我が国産業の発展および国民生活文化の向上に寄与することを目的に、1986年に設立された総合団体です。現在、皮革関係26団体を会員として活動しています。



【日本の革】
消費者に日本の皮革および革製品の魅力を広く伝えることを目的にNo.1~8を発売。日本ならではの優れた感性や高い技術とともに、モノづくりにひたむきな職人にもフォーカスしながら、ジャパンブランドの魅力を発信



Kids' Leather Programs
こどもの育成または教育を推進するNPO団体、教育関係機関や児童福祉施設などに革製品メーカーなどから集めた革の端材「残革」を無償提供。子ども達に残革を使ったものづくり体験を楽しんでもらいながら、天然皮革について理解を深めてもらう活動を行っている



革製品技能試験
日本の皮革技術に対する社会一般の評価を高め、職人の技能と社会的・経済的地位の向上を図るとともに、皮革産業の未来を担う後継者を育成している

その他にも国産皮革・革製品をサポートする取り組みを多数実施しております。詳しくはJLIAのホームページをご覧ください。

➡ <http://www.jlia.or.jp/>



JAPAN LEATHER AWARD 2016

エントリーお申し込み・お問い合わせは

一般社団法人 日本皮革産業連合会 (JLIA) Japan Leather Award 2016 事務局

〒113-0031 東京都文京区根津1-1-19 9F (株式会社 ザッツコーポレーション内)

tel.03-3827-1991 fax.03-3827-1995

オフィシャルサイト <http://award.jlia.or.jp/2016/>

Twitter

@leatheraward

Facebookページ

<http://www.facebook.com/leatheraward>



JAPAN LEATHER AWARD 2016

素材 × デザイン × ファッション = ∞

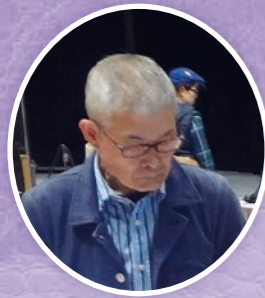
募集要項



近年ますます注目を集めるジャパングオリティを
国内、そして世界へ発信する日本最大規模のレザープロダクトコンペティション
Japan Leather Award 2016が今年も始動!

素材×デザイン×ファッション=∞

今年も天然の皮革素材を生かし、
素晴らしいデザイン力やファッション性に富んだ作品を広く募集します。
ふるってご応募ください。



「技術力やクオリティだけではない
夢を語りたくなるような作品も
待ち望んでいます。」

審査員長 菅野 健一

「良いデザインがあってこそ
良い素材、良い作りが生きてくる。
世界に出ても戦える作品、期待してます!」

ゲスト審査員 ドン小西



Japan Leather Award History

2012
GRAND PRIX



「shoes album*0」ベビーシューズ
大河 なぎさ OKAWA, Nagisa
(tokyo toff)

2013
GRAND PRIX



「MITSUHIRO SUGANO」婦人靴
菅野 光広 SUGANO, Mitsuhiko
(靴工房MAMMA)

2014
GRAND PRIX



磯田 秀文 ISODA, Hidefumi
(株式会社 太閤)

2015 Report

Japan Leather Award 2015では、330点の作品が集まり、審査会、表彰式ともに盛大なものとなりました。



表彰式は、阪急うめだ本店 9F「祝祭広場」にて開催。



革は2014年に香港APLFで日本ではじめて世界に輝いた黒浅革・極。つくり手の坂本 弘氏からその現物を託され、最後の一分分をブーツに仕立てた。

JAPAN LEATHER AWARD 2015
GRAND PRIX

Japan Leather Award 2015 グランプリ
(日本エコレザー部門)

二本 真
(三井造船 株式会社)



グランプリを受賞した二本 真さん。2012年にはジャパン・レザー・アワードのアマチュアメンズ部門で入賞。「世界で活躍するデザイナーと東京コレクションでコラボするなど、活動の幅が広がりました。」

Japan Leather Award 2015 ほか受賞作品



ゲスト審査員賞
関口 陽子



レディースフットウェア部門賞
田川 康治
(株式会社 リーガルコーポレーション)



メンズフットウェア部門賞
大蔵 剛
(大塚製靴 株式会社)



レディースバッグ部門賞
染谷 昌宏
(染谷商店)



メンズバッグ部門賞
田中 秀明
(カバン田中)



ファッション雑貨部門賞
櫻井 和重
(株式会社 アルテック・ラボ)



生活雑貨部門賞
村瀬 靖人
(株式会社 村瀬靴行)



エコゾチックレザー部門賞
濱田 剛



学生部門賞
寺村 シモン
(杉野服飾大学)

- 1 国内最大規模のレザープロダクトコンペティション
- 2 どなたでも無料で応募可能
- 3 大阪 阪急うめだホールで1次審査(全作品展示)
- 4 東京 マーチエキュート神田万世橋で2次審査(上位100作品展示)
- 5 審査会、表彰式時のマスコミ取材
- 6 受賞作品は大阪 阪急うめだ本店で展示
- 7 グランプリ受賞者をPR (PV制作 or 香港APLF展示 or 販売サポート)

● 審査方法が変わりました!

※グランプリ、ゲスト審査員賞、各部門3位までの計22作品を展示、受賞8作品を掲載した小冊子も配布します。

審査員プロフィール

Judge profile

● 審査員長



菅野 健一
東京藝術大学 美術学部 工芸科 教授
1977年3月、東京藝術大学大学院美術研究科修士課程工芸専攻修了。多数の大学で教鞭を取り、2009年10月より東京藝術大学美術学部教授となる。東京都台東区の受託研究として、台東区地場産業の芸術による活性化の研究を行う。個展も多数開催。2012年、2013年、2014年、2015年のJapan Leather Awardの審査員長を歴任。

● ゲスト審査員



ドン小西
ファッションデザイナー
1981年自社ブランド「フィッチェ・ウォーモ」設立。東京・NY・ミラノ・ロンドン・ソウルなどでコレクションを発表。また長野、シドニーオリンピック日本選手団、税関職員、東武鉄道など、数多くのユニフォームを手がける。毎日ファッション大賞、FECデザイナー賞ほか国内外の受賞多数。2006年イスラエル親善大使、2008年三重県観光大使就任。流行色協会理事、日本ユニフォームセンター理事。

● 2次審査担当のプロ審査員 (あいうえお順)



阿部 浩

レガール(株)代表取締役。(株)ベイクルーズを退社後、フリーランスのコンサルタントへ。トミーヒルフィガー、ジャパン、レナウン、ジュリアーノ、フジワラなどで活躍後、ブランドコンサルタント会社レガール(株)設立。マーチャンダイザーとプロモーションを専門に手掛ける。現在、日本のファクトリーブランド立ち上げ準備中。



岩谷 俊和

「ドレスキャンパ」デザイナー。第22回毎日ファッション大賞新人賞、資生堂奨励賞、第6回モエ・エ・シャンソン新人デザイナー賞受賞。2012年より「YUMI KATSURA」クリエイティブチームデザインディレクター、2015年より(株)三陽商会が展開する「TO BE CHIC」のデザインディレクターを務める。



有働 幸司

「ファクトタム」デザイナー。1989年東京モード学園入学。1992年(株)BEAMS入社。退社後ロンドンに単身留学、留学中にヨーロッパ一周を実施。1998年帰国後、国内ブランドの立上に参加。2004年独立。現在、モード学園デザイン学科、ビジネス学科、スタイリスト学科の特別講師を務める。



鎌倉 泰子

フリーのバイヤー兼ライター。アッシュベール・フランス(株)「goldie H.P. FRANCE」ディレクター、「Juanade Arco」[destination Tokyo]のバイヤーとして、フランスをはじめとするヨーロッパ各国と南米、日本のクリエイションを取り入れたコンセプト作りからショップ販売までを企画する。現在、JLIA「TIME&EFFORT」のバイヤーを担当。



久保 雅裕

ファッションジャーナリスト・ファッションビジネスコンサルタント、杉野服飾大特任准教授・共立女子大非常勤講師。織研新聞社アッシュ編集室長・パリ支局長、大手セレクトショップのマーケティングディレクターを経てウェブメディア「Journal Cubocci」を運営。合同展主催やコンサルティング、講演活動なども行っている。



中山 路子

「ミュベール」デザイナー。服飾の学校を卒業後アパレルメーカーに就職。2002年MOSSLIGHTの設立に携わる。2006年より海外に進出。2007年解散後、MUVEILとして新しいスタートを切る。2012年9月コンセプトショップ「ギャラリーミュベール」を表参道にオープン。2013年よりグランマをミューズにしたジュエリーブランド「グランマティック」のディレクションを手掛ける。



平松 有吾

(株)バルコ 新規ブランニング部勤務。渋谷バルコにてインキュベーション企画や新規デザイナーショップの誘致業務を中心に活動。2011年よりスタートしたデザイナーファンドのFFF(ファイトファッションファンド)やワンスアマンズの拡大を進めている。



丸林 耕太郎

(株)クリーマ 代表取締役社長
2009年に現在の株式会社クリーマを創業。日本最大級のハンドメイドマーケットプレイス「Creema」、クリエイターの祭典「ハンドメイドインジャパンフェス(東京ビッグサイト)」、セレクトショップ「クリームストア(新宿ルミネ2 2F)」など、日本のクラフト市場に新しいうねり起こし続ける気鋭の実業家。



矢口 真弓

PR・アドバイザー。ピググループでVMD、販売促進、プレス業務を担当後、2000年に独立。アパレルやセレクトショップのプレスを多数手掛け、小売業においては、ヴィジュアルプレゼンテーションに関わり、店頭からPRまで多岐にわたる業務に携わる。現在は、インポート商社のイタリアブランドや、国内バッグブランド「トフ&ロードストーン」のPRとして活躍中。

※審査員は、都合により変更する場合がございます。予めご了承ください。

今年から2段階審査を採用。1次審査ではデザイン力とファッション性を重点的に、2次審査では素材を生かしたものづくりや技術力も加え、総合的に審査します。

1次審査会 全応募作品から100作品を選出

- 会場: 阪急うめだ本店 9F「阪急うめだホール」
- 開催日: 10月10日(月・祝)・11日(火)
- 審査員: 審査員長 菅野健一氏 / ゲスト審査員 ドン小西氏 / 阪急うめだ本店の来店客150名

審査員長の菅野健一氏とゲスト審査員のドン小西氏、阪急うめだ本店の来店客150名が審査・採点し、全応募作品から100作品を選出します。

2次審査会 1次審査会を通過した作品を10名のプロ審査員が審査

- 会場: マーチエキュート神田万世橋
- 開催日: 10月22日(土)・23日(日)
- 審査員: 審査員長 菅野健一氏 / 2次審査員 9名

審査員長の菅野健一氏と2次審査員9名が審査・採点し、1次審査通過100作品より、各部門賞、グランプリを決定します。

※グランプリは表彰式当日に発表します。
※グランプリ、ゲスト審査員賞、各部門3位までの計22作品を、表彰式会場、展示会場にて展示します。



一般公開

写真はJapan Leather Award 2015審査会の様子



一般公開

博覧会

Exposition

「阪急うめだホール」を会場に、さまざまなレザー素材の魅力を伝える「レザーワールド」、業界内外の交流をはかる「レザークラフトマンミーティング」を開催します。

LEATHER WORLD
レザーワールド



2016年
10月10日(月・祝)・
11日(火)

すべての応募作品が集まる審査会場と同じ空間に、さまざまなレザー素材を展示。
阪急うめだ本店の来店客のみならずにもレザーの魅力を実際に見て、触って、感じていただけるコーナーを設置します。

LEATHER CRAFTSMAN MEETING
レザークラフトマンミーティング



応募者限定

2016年
10月11日(火)

業界内外の交流をより深める場として、懇親の場を兼ねた交流会を開催。
参加者のプロフィールブックを配布するとともに、PRのためのインフォメーションスペースなどもご用意する予定です。
※レザークラフトマンミーティングは2016年10月11日(火)のみの開催となります。
※詳細については、後日、作品応募者にご連絡します。

表彰式

Awards Ceremony

各部門賞とゲスト審査員賞の受賞者、関係者を招いて、阪急うめだ本店 9F「祝祭広場」にて表彰式を開催。
今年もゲスト審査員のドン小西氏にナビゲーター、プレゼンターとして参加していただきます。
グランプリは表彰式当日に発表します。
また、グランプリ、ゲスト審査員賞、各部門3位までの計22作品を展示します。

2016年
11月16日(水)



写真はJapan Leather Award 2015表彰式の様子

●開催場所：阪急うめだ本店 9F「祝祭広場」
大阪府大阪市北区角田町8-7

受賞後のPR

PR

受賞者対象のPR

受賞作品は、阪急うめだ本店 10F「うめだスーク」にて1週間展示を行います。

2017年1月
開催予定



●開催場所：阪急うめだ本店 10F「うめだスーク中央街区」
大阪府大阪市北区角田町8-7

※会場にて、受賞者による製作実演やワークショップなどを予定しています。
※受賞作品だけでなく、各部門2位・3位の作品も展示します。

受賞者および受賞作品をまとめた小冊子を作成。展示イベントで配布するほか、各受賞者にもプロモーション用として提供します。



写真は2015年度版

グランプリ受賞者のPR

グランプリ受賞者には、副賞として以下の3つのプランのうち1つをお選びいただけます。

3つから選べる!



プロモーションビデオの制作・WEB配信

※副賞の詳細については、後日、グランプリ受賞者にご連絡します。



香港APLF2017 JAPANブースでの
グランプリ作品展示



Creema STORE in ルミネ新宿2での
2週間限定の販売サポート

募集要項

部門

レディースフットウェア／メンズフットウェア／レディースバッグ／メンズバッグ／ファッション雑貨*1／生活雑貨*2／学生*3

※1…たとえば、レザーウェア、ベルト、手袋、帽子など身につけるもの。
※2…たとえば、革小物(財布、名刺入れ)、革製筆箱、革製置物など。
※3…大学、専門学校などの学生だけが応募できます。

各賞について

- 部門賞(7部門、各1名) … 各賞金10万円、トロフィー「各部門内で最もポイントが高い作品」
- グランプリ(1名) … 賞金30万円*4、トロフィー、副賞*5「部門賞7作品の中で最もポイントが高い作品」
- ゲスト審査員賞 … 賞金10万円、トロフィー「ドン小西氏が選出した作品」
- ※4…グランプリは各部門賞の中から選出されるので、賞金は実質40万円になります。
- ※5…副賞は、「プロモーションビデオの制作・WEB配信」、「香港APLF2017 JAPANブースでのグランプリ作品展示」、「Creema STORE in ルミネ新宿2での2週間限定の販売サポート」のうち1つをお選びいただけます。

審査基準

「素材×デザイン×ファッション=∞」のコンセプトを踏まえ、天然の皮革素材を生かしたものづくりやデザイン力、ファッション性を総合的に審査します。

応募注意事項

- 個人またはグループでの作品応募が可能です。
グループで作品応募する場合は、メンバー全員から同意を得たうえで代表者を定め、代表者名で作品応募してください。
- 応募作品のコンセプトやデザインなどは個人またはグループのオリジナルのものであり、国内事業者または個人によって製造(縫製など)された作品に限ります。
- 個人またはグループでの応募は、各部門1点まで応募することができますが、同じ作品を複数部門にまたがって応募することはできません(同じ型で色違いの作品を複数応募することもできません)。
- 国産のなめし革、または、エキゾチックレザー(ワシントン条約に基づき正しく輸入された革)を作品表面積の60%以上に使用してください。
- 審査の結果、部門内1位の作品であっても他部門との作品クオリティなどを勘案し、同部門賞を「該当なし」とする場合があります。
- 応募作品の審査会場での展示は、原則として、付属品を除いた作品本体のみの展示となります。
付属の装飾物や資料、オリジナル什器などは展示できませんので、予めご了承ください。
- ご応募いただいた作品の返却は、全作品12月14日以降のご返却となります。作品の一時返却はできませんので、予めご了承のうえご応募ください。
- ご応募いただいた作品は、審査員が実際に手に取って作品審査を行いますので、傷や汚れがつく場合がございます。予めご了承のうえご応募ください。

審査および結果発表

〈1次審査〉

審査員長の菅野健一氏とゲスト審査員のドン小西氏、阪急うめだ本店の来店客150名が審査・採点し、全応募作品から100作品を選出します。

〈2次審査〉

審査員長の菅野健一氏とデザイナー、ディレクター、バイヤーなどで構成されたプロ審査員9名が審査・採点し、1次審査通過100作品より、各部門賞、グランプリを決定します。

〈結果発表〉

2016年11月16日(水)、阪急うめだ本店 9F「祝祭広場」にて開催する表彰式で発表します。

受賞作品の展示

受賞作品は、阪急うめだ本店 10F「うめだスーク」にて1週間展示を行います。
受賞作品の展示期間中、展示会開催先とそれぞれ販売条件などを締結のうえ受賞作品などの販売を委託することが可能です。

※一般社団法人日本皮革産業連合会(JLIA)は、この委託販売にはまったく関与しません。